

TOSHIBA

東芝同時給排気形換気扇

取付説明書

形名

VFP-10JDタイプ

VFP-14JDタイプ

フリールファン

この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けいただくためにこの取付説明書をよくお読みください。

取付工事は、必ず専門の工事店にご依頼ください。

別冊の取扱説明書及びこの取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。

安全上のご注意

取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
	警告 誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意 誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の例

表 示	図記号の意味
	改造禁止 ○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は○の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
	取付は依頼 ●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「取付は専門業者に依頼」を示します。

取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

警告	
	取付・移設は、お買上げの販売店または専門業者に依頼すること 取付が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。
	電気工事は電気工事士（ ）が行うこと 電気工事士以外が行うと、火災・感電、けがの原因になります。 ：電気工事士への依頼はお買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
	取付は取付説明書に従って確実に行うこと 取付が不完全なときは、水漏れ・感電・火災・部品落下によるけがの原因になります。
	改造はしないこと 火災・感電・けがの原因になります。
	修理技術者以外の人とは分解、修理（ ）をしないこと 火災・感電・けがの原因になります。 ：修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
	給排気口は燃焼ガスや有毒ガスなどを吸い込まない所にあること また積雪で給排気口をふさがない所にあること 新鮮な空気の換気ができず、ガス中毒や酸欠の原因になります。
	強度のある所に確実に取り付けること 落下により、けがをする原因になります。

注意	
	天井面に取り付けないこと 落下し、けがをする原因になります。
	前後左右に傾けて取り付けけないこと またパイプは確実に排水するよう取り付けると 水漏れの原因になります。
	電源は交流100Vを使うこと 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。
	浴室など湿気の多い所には取り付けけないこと 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
	炎が接近したり、あたる恐れのある所には取り付けけないこと 火災の原因になります。
	メタルラス張りなどの金属造管材に接触しないように取り付けると 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
	パイプは室外に向かって下りこ配に取り付けること 雨水の侵入により、火災・感電・水漏れの原因になります。
	本体カバー・フィルターなどの部品は確実に取り付けると 落下により、けがをする原因になります。

取付上のお願い

次のような場所には取り付けないでください。

- 高温（40℃以上）になる場所
- ガスレンジの真上
- ガス沸沸器の真上
- 浴室など湿気の多い場所
- 台所など油煙の多い場所
- 腐食性ガスの発生する場所
- 暖房器・加湿器の近くや真上
- 直射日光が当たる場所

製品は直接壁に取り付けますので、下記条件に合う場所を選んでください。

- 風の吹出口、吸込口に障害物のないところ
- 本体カバーがはずせてフィルターを前に引き出せるところ

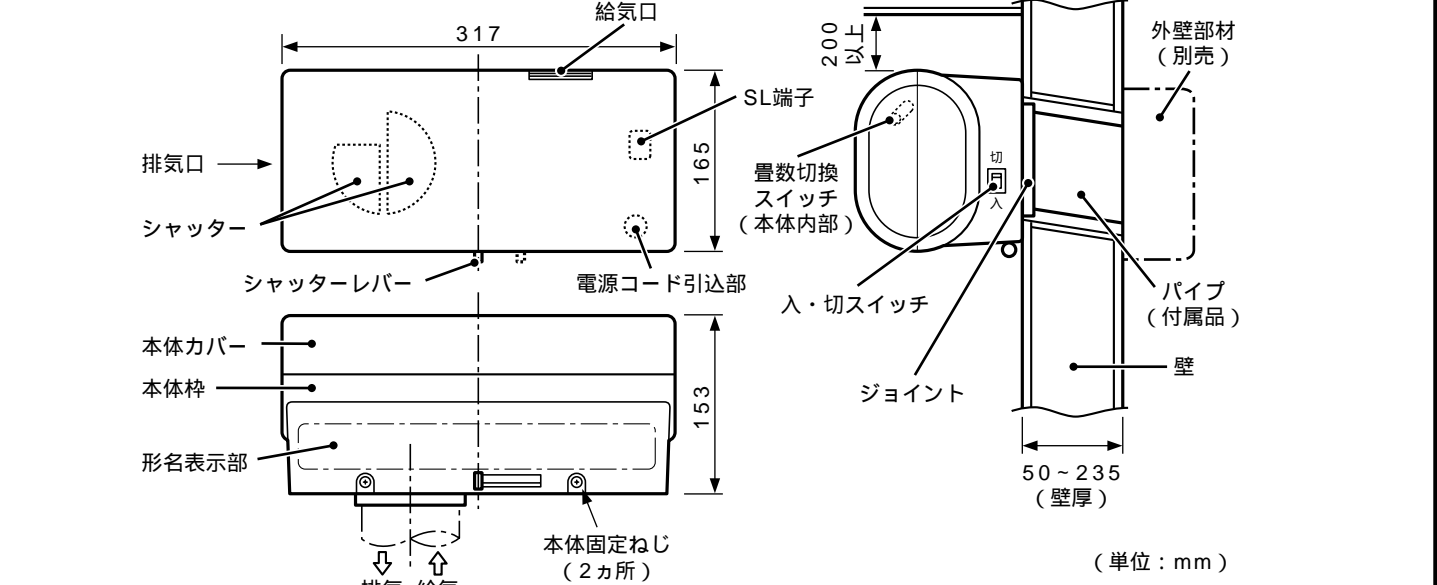
50cm以上
はなす

200mm以上
ほこりの多い
周囲環境では
250mm以上

100mm以上

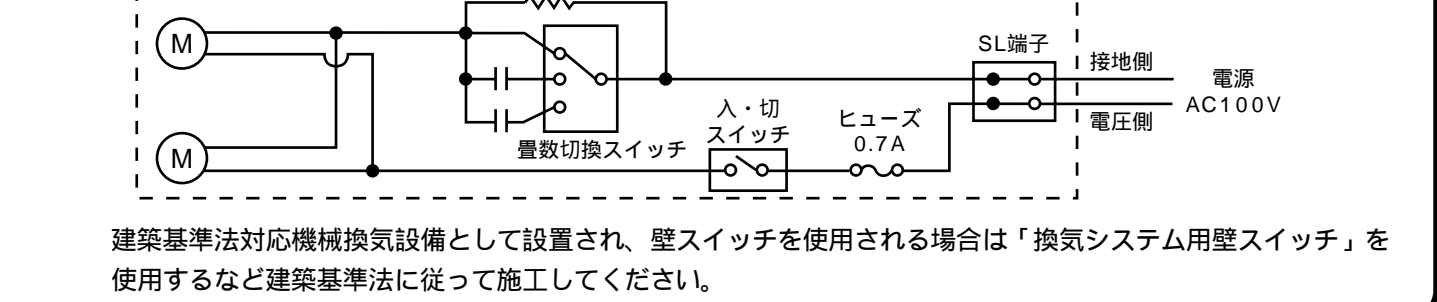
1.8m以上（床面まで）

各部のなまえと寸法

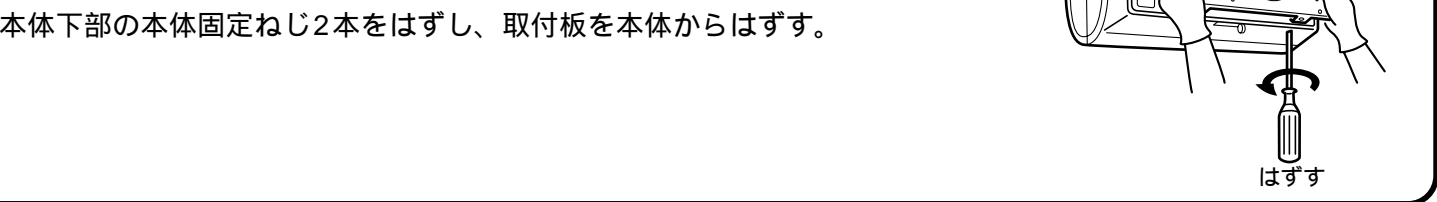


付属品	
パイプ（二層管）...1本	木ねじ.....4本（取付板固定用）
ジョイント.....1個	
別売部品をご利用ください	
パイプフード	C-702R、C-702RK 樹脂製 C-703R、C-703RK 鋼板製 C-704R1 ステンレス製 C-704RD1 ステンレス製
防火ダンパー付パイプフード	

配線図

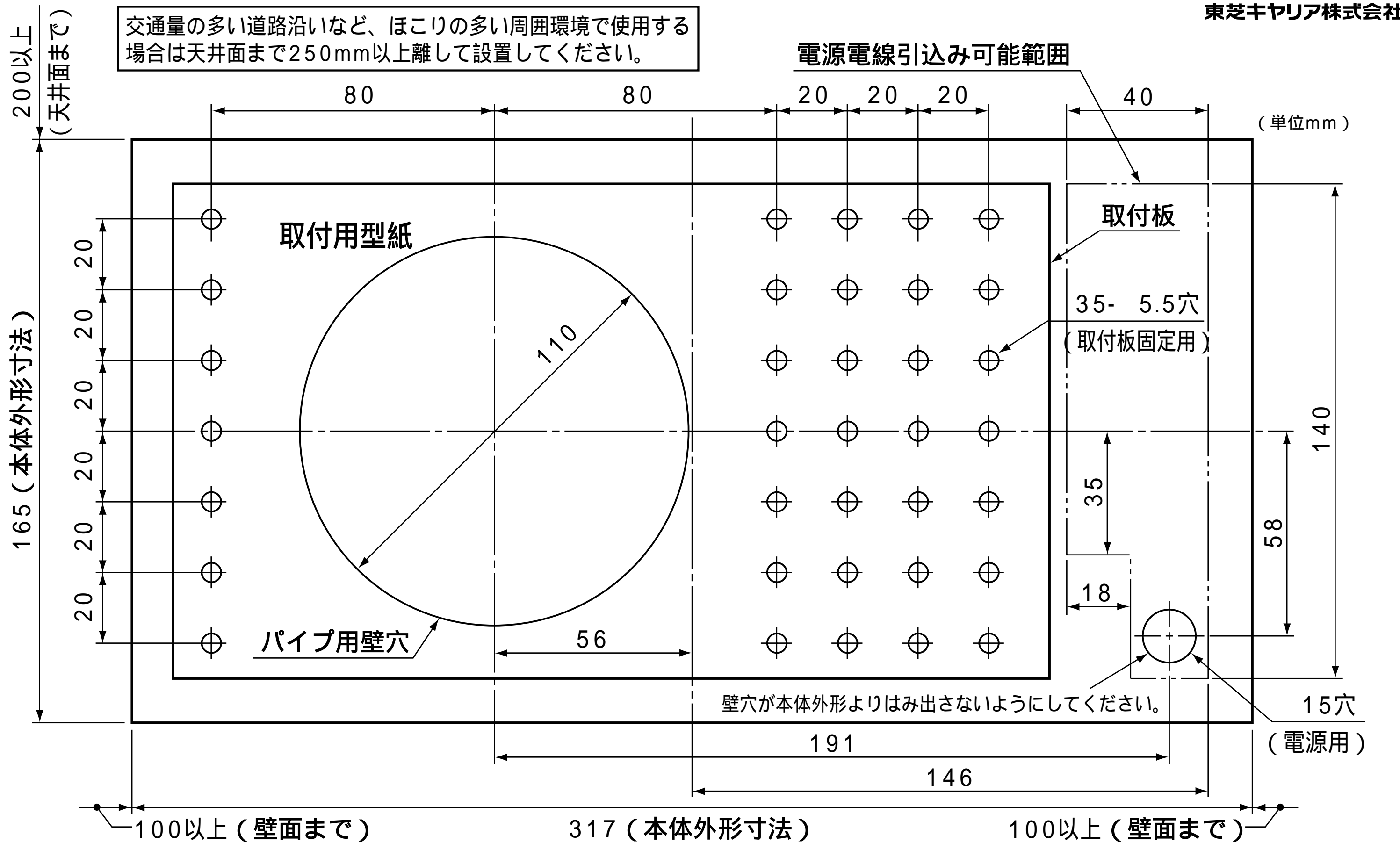


取り付け前の準備



取付方法

- 本体を先に取り付ける場合
- 1-1** 型紙を利用し取付位置を決め、パイプ用壁穴（110）をあける。
- 取付板固定用穴が胴縁にかかるようにしてください。
- 取り付け場所が弱いと振動・騒音・落下の原因となりますのでご注意ください。
- 壁穴の位置が、屋内配線、電話ケーブル、柱などの障害物にからないようにしてください。
- パイプ用壁穴は必ず室外側に3°の下り勾配となるように穴あけしてください。
- 1-2** 型紙を利用し電源電線引き出し可能範囲のなかに穴（15程度）をあけ、電源電線を屋内側に引き出す。
- 電源電線はVVF 1.6または 2.0を使用してください。
- 1-3** 付属のパイプを壁厚 + Ammの長さに切断する。
- 外壁部材の種類によりA寸法が異なりますので、詳しくは外壁部材の取付説明書をごらんください。
- バリがでた場合は、取り除いてください。
- 1-4** ジョイントにコーキング材を塗布し、パイプを溝の奥まで確実に挿入する。ジョイントとパイプを市販のアルミテープで固定する。
- コーキング材はジョイント端部より高く塗布してください。
- ジョイントの内側のコーキング材の表面を平らにしてください。
- コーキングをしないと雨水が侵入します。



取付方法（つづき）

- 1-5** 取付板を付属の木ねじ4本で固定する。
- 取付板には取付用の穴がいくつもあっていますが、胴縁に固定できる穴を使用してください。
- 取付板と壁面に隙間ができないようにしてください。
- 木ねじが1カ所に集まらないように四すみに分散してください。
- コンクリート壁の場合は、PYプラグなどを利用して木ねじで固定するかコンクリート釘で固定してください。
- メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属張りなどの木造の建物に取り付けるときは取付板が金属部分と電氣的に接触しないように絶縁物をはさんでください。
- 1-6** パイプを取付板に取り付ける。
- ジョイントの切欠きを取付板の凸部に合わせて取り付けてください。
- ジョイントと取付板に隙間がないようにしてください。
- 壁穴とパイプの隙間から雨や風などが入らないようコーキングしてください。
- 1-7** 別売の外壁部材（パイプフード等）を壁面に取り付ける。
- 外壁部材は必ず取り付けてください。雨水の侵入により、火災・感電・水漏れの原因になります。
- 取付方法は外壁部材に付属の取付説明書を参照してください。
- 外壁部材は必ず二層管用をご使用ください。有効換気量が確保できなくなります。
- 1-8** 本体を取付板に固定する。
- 本体カバーをはずす。
- 電源電線を電源電線引込部より本体内部へ引き込む。
- 本体上部の穴を取付板の引掛け部に引掛け、本体固定用ねじを2カ所締め付けて本体を固定する。
- ねじは本体をしっかりと壁に押しつけて締め付けてください。
- 1-9** 電源電線を接続する。
- SL端子に電源電線の芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。
- （電線被ふきは12mmむいてください）
- SL端子から電線が抜けないこと、芯線がカバーからはみ出していないことを確認してください。
- 1-10** 風量を設定する。
- 取り付ける部屋の広さと必要換気回数により、本体右側にある豊数切換スイッチを設定してください。
- （出荷時は10JDタイプは6畳、14JDタイプは12畳に設定してあります）
- 本体カバーを取り付ける。

取付方法（つづき）

- 外壁部材を先に取り付ける場合
- 2-1** 取付位置を決め、外壁面にパイプ用壁穴（110）をあける。
- 2-2** 付属のパイプを内装仕上面からパイプ端部の寸法が5～20mm以内の範囲になるようにする。
- また、外壁からのとびだし寸法がAmmになるように切断し、パイプを固定する。
- 外壁部材の種類によりA寸法が異なりますので、詳しくは外壁部材の取付説明書をごらんください。
- バリがでた場合は、取り除いてください。
- パイプ用壁穴は必ず室外側に3°の下り勾配となるように穴あけしてください。
- 壁穴とパイプの隙間から雨や風などが入らないようにコーキングしてください。
- パイプの仕切板が垂直になるようにしてください。
- 2-3** 別売の外壁部材（パイプフード等）を壁面に取り付ける。
- 外壁部材は必ず取り付けてください。雨水の侵入により、火災・感電・水漏れの原因になります。
- 取付方法は外壁部材に付属の取付説明書を参照してください。
- 外壁部材は必ず二層管用をご使用ください。有効換気量が確保できなくなります。
- 2-4** 内装仕上後、型紙を利用し内装仕上面のパイプ位置に壁穴（110）と電源電線取出口をあける。（1-1、1-2参照）
- 2-5** 取付板を付属の木ねじ4本で固定する。（1-5参照）
- 取付板には取付用の穴がいくつもあっていますが、胴縁や補強材に固定できる穴を使用してください。
- 取付板と壁面に隙間ができないようにしてください。
- 木ねじが1カ所に集まらないように四すみに分散してください。
- コンクリート壁の場合は、PYプラグなどを利用して木ねじで固定するか、コンクリート釘で固定してください。
- メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属張りなどの木造の建物に取り付けるときは、取付板が金属部分と電氣的に接触しないように絶縁物をはさんでください。
- 2-6** ジョイントにコーキング材を塗布し、パイプに挿入する。
- コーキング材はジョイント端部より高く塗布してください。
- ジョイントの切欠きを取付板の凸部に合わせて取り付けてください。
- ジョイントと取付板に隙間がないようにしてください。
- ジョイントの内側のコーキング材の表面を平らにしてください。
- コーキングをしないと雨水が侵入します。
- 以下の工事は「本体を先に取り付ける場合」と同様に行ってください。（1-8～1-10参照）
- 2-7** 本体を取付板に固定する。
- 2-8** 電源電線を接続する。
- 2-9** 風量を設定する。

試運転

- 1** シャッターを開ける。
- シャッターレバーを「ひらく」の位置まで完全に開けてください。
- 2** 電源を入れる。
- 分電盤のブレーカーを入れる。
- 入・切スイッチを「入」にする。
- 風雨の激しいときは、運転を停止してシャッターを閉じてください。
- 運転したとき異常音・振動がないか確認してください。